

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立蒲原中学校 校長 根本幸男

1 学校教育目標

- ①健康
- ②明るく楽しく
- ③少しずつ賢くなる

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①学校図書館を活用し、読書に親しむ習慣を身につけさせる。
- ②学校図書館を活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ③学校図書館を活用した調べ学習を通して、生徒の課題解決能力を育成する。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 13315 冊（蔵書基準冊数 12160 冊）／ 蔵書率 110.1 %									
	② 新規購入図書 634 冊 / 廃棄図書 632 冊 / 増減冊数 +2 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.1%	3.7%	9.3 %	8.9 %	9.1 %	4.9 %	2.7%	9.3%	3.8%	45.1 %
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間： 12時40分～17時20分									
	② 生徒一人あたりの年間貸出冊数 7.17 冊（前々年度： 7.98 冊）									
	③ 学校図書館利用率 63900%（前々年度54900%）									
（令和4年度末）										
蔵書状況	① 蔵書数 冊（蔵書基準冊数 冊）／ 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊 / 廃棄図書 冊 / 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間： (前年度からの変更 あり・なし)									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 冊（前年度末： 冊）									
	③ 学校図書館利用率 %（前年度末： %）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	<ol style="list-style-type: none"> ①小学校からの読書習慣を継続し、読書に親しむ意欲を育成する。 ②学校図書館を活用した調べ学習を通して、生徒の課題解決能力を育成する。 ③学校図書館の利用の仕方、図書の扱い方を理解する。 	
今年度の成果目標		達成基準
<ol style="list-style-type: none"> ①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を利用し、読書ができる。 ②図書館の本や新聞等を活用した調べ学習を通して、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③学校図書館の利用マナー、図書館の仕組みを理解する。 		<ol style="list-style-type: none"> ①第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数 前年度と同数以上 ②読書活動や探究活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合 100% ③学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率 100%
目標達成状況		
①		
②		
③		

第2学年	①読書習慣を継続し、読書に親しむ意欲を育成する。 ②学校図書館を活用した調べ学習を通して、学校図書やICT機器を使い分けながら、生徒の情報活用能力を育成する。 ③学校図書館の利用の仕方、図書の扱い方を理解し、生徒の規範意識を育成する。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を利用し、読書ができる。 ②図書館の本や新聞等を活用した調べ学習を通して、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができる。 ③学校図書館の利用マナー、図書館の仕組みを理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	①第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数 前年度と同数以上 ②読書活動や探究活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合 100% ③学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率 100%

目標達成状況	
① ② ③	

第3学年	①読書を通して、自分の考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ②学校図書館を活用した調べ学習を通して、生徒の表現力を高める。 ③学校図書館のよりよくするための活動を通して、主権者としての素養を育成する。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
①休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を利用し、読書ができる。 ②課題に応じて、図書や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進め、調べたことを表現することができる。 ③学校図書館の利用マナー、図書館の仕組みを理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	①第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数 前年度と同数以上 ②読書活動や探究活動の授業を年5回以上実施するクラスの割合 50% ③学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率 100%

目標達成状況	
① ② ③	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ①既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を12月までに完了させる。 ②学期末に蔵書点検を行い、学校図書館支援員、各教科担当教員の協力を得ながら、図書資料の更新、廃棄を行う。 ③全蔵書の3割程度について、「3桁分類」への転換作業を完了させる。	
【学校図書館支援員との連携・協働】 ①学校図書館オリエンテーションの実施やビブリオバトルの実施等、学校図書館支援員、国語科教員との積極的な連携・協働を図りながら、生徒の読書に親しむ心を育てる。 ②各教科の授業において、学校図書館支援員、教科担当者との連携・協働を図りながら、計画的に教科指導を行い、生徒の主体的な学びにつなげる。	

<p>③調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について学校図書館支援員に相談し、積極的に情報交換を行う。</p> <p>④図書委員会の活動の充実をはかり、学校図書館支援員、図書委員会担当教員と連携を図りながら、生徒の学校図書館利用の向上に努める。</p>	
<p>【その他】</p> <p>①年度末の貸し出し返却率が 100%となるように取り組む。</p> <p>②東和図書館との「調べ学習用図書」の配送サービスの積極的な活動を図る。</p>	

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）